yurenji digital

ABOUT ME

REN TAKEMOTO · FOUNDER, YURENJI DIGITAL

私について、そして
私がこの仕事をする理由。

これは営業資料ではありません。一緒に仕事をすることになるかもしれない人間が、どこで育ち、何に影響を受け、仕事以外で何を大切にしていて、なぜ人の成長を支える仕事を選んだのか。その背景をお伝えするためのものです。

ご自身の事業の一部を誰かに任せるかどうかを考えるとき、まずその人が本当はどんな人間なのかを知っていただくべきだと思っています。できる限り正直にまとめました。



BACKGROUND

ルーツ

岐阜で生まれ、サウスカロライナで育つ

私は岐阜県で生まれました。幼い頃に家族でアメリカのサウスカロライナ州に移り、7年間を過ごしました。「滞在している場所」ではなく、「育った場所」だと感じるには十分な時間でした。

学校には世界中から来た人たちがいました。同じ言葉でも、聞く人によって受け取られ方がまったく違うこと。そして誤解の多くは能力の問題ではなく、前提の違いから生まれることを、早い時期に学びました。

日本に戻ってきたとき、両方の国を新しい目で見ることができました。アメリカで慣れた率直さを懐かしく思う一方で、日本で育つ中で当たり前だった丁寧さや細部への気配りの価値に、初めて気づいたように思います。今もその両方を大切にしています。



BETWEEN TWO CULTURES

二つの国で育って学んだこと

当時は、学んでいるとは気づいていなかったこと

話す前に、聞くこと。言葉がまだ十分に話せない転校生だった頃、話す前に周りをよく見て、よく聞くことを覚えました。今も同じです。気の利いたことを急いで言うより、相手の状況をきちんと理解したいと思っています。

率直に、でも思いやりを持って。アメリカでは、本音を伝えることが相手への敬意だと学びました。日本では、どう伝えるかも同じくらい大切だと学びました。正直でありながら、人を雑に扱わない。その両方を持ち続けたいと思っています。

違いを楽しめること。さまざまな背景を持つ友人に囲まれて育ったことで、自分と違う考え方の人に対して、警戒よりも興味を持つようになりました。この好奇心は、私が持っているものの中で一番役に立っていると思います。

どこにも完全には属さないこと。以前はそれを弱みのように感じていました。今は、日本語と英語、二つの働き方のあいだに自然に立ち、言葉だけでなく意図まで橋渡しできる理由だと思っています。

WHERE IT STARTED

SNSとコンテンツの中で育ち、学んできた

コンテンツと視聴者の仕組みは、そこで身につけました

子どもの頃、スポーツやお笑いの動画をネットに投稿していました。ほとんど遊びでしたが、少しずつ再生数が伸びていきました。誰かに教わったわけではありません。タイトル、サムネイル、冒頭の作り方は、何度も失敗しながら、人が何をクリックし、どこで離れていくのかを見て覚えました。

本当に自信のある動画がほとんど見られず、あまり考えずに出した動画が伸びる。その不思議な感覚を、今でもよく覚えています。

その経験から生まれた好奇心は、今も消えていません。なぜこの動画は伸びて、あの動画は伸びなかったのか。見ている人は、本当は何を求めていたのか。この問いが、今の私の考え方の中心にあります。

本で読むのとは違う学び方でした。子どものプライドという小さなものでも、何かを失いながら学んだからこそ身についたのだと思います。伸びなかった動画の一本一本に、感謝しています。

A JOB THAT TAUGHT ME A LOT

京都のツアーガイドで学んだこと

少人数のプライベートツアーを、英語で

私は京都でプライベートツアーのガイドもしています。お客様の多くは遠い国から来ていて、京都で過ごせるのは一日だけ、ということも少なくありません。その一分一秒に、静かな緊張感があります。

すぐに気づいたのは、人は事実を覚えているのではなく、そのときに何を感じたか、自分が大切にしている何かとつながったかを覚えている、ということでした。同じお寺でも、伝え方ひとつで退屈にも、忘れられない場所にもなります。

ガイドの仕事では、その場の空気を読むことも学びました。集中が途切れかけているとき、遠慮して質問できずにいる人がいるとき、話すべきときと、場所そのものに語らせるべきとき。

何より、この仕事の主役は自分ではないと学びました。良い一日かどうかは、お客様が何を持ち帰ったかで決まります。何をするときも、その姿勢を大切にしています。相手にとって本当に良いものでなければ、良い仕事とは言えません。

LEARNING PROPERLY

体系的に学ぶことを選んだ理由

感覚で始めたことに、土台を持たせたかった

試行錯誤から学んだことは多くありましたが、抜けている部分もありました。感覚でやってきたことの理由をきちんと理解したいと思い、ソーシャルメディア戦略、ソーシャルメディアマーケティング、デジタル広告、AIを活用したマーケティングを講座で学び、以下の修了証を取得しました。









HubSpot Academy：Social Media／Social Media Marketing II／Digital Advertising ・ Semrush Academy：Become an AI-Powered Marketer

資格があるだけで専門家になれるとは思っていません。得られたのは、共通の言葉と、自分の感覚を確かめるための原則です。事業も大阪できちんと届け出をしました。最初の日から、責任を持てる本物の事業にしたかったからです。

OUTSIDE OF WORK

自分を保つためのもの

仕事から離れたときに、戻ってくる場所

サッカー

子どもの頃から続けています。頭を切り替えられる時間であり、努力はチームが良くなってこそ意味があると学んだ場所です。

自然

海や山道など、静かな屋外。一番すっきり考えられるのは、画面から離れているときです。

アニメ

新世紀エヴァンゲリオンとドラゴンボール。物語、人物、葛藤、成長についての考え方に、何よりも大きな影響を与えてくれた作品です。

猫

家で一番落ち着いている存在で、自分を深刻に考えすぎないよう思い出させてくれます。





SOMETHING I BELIEVE

今、信頼が何より大切だと思う理由

何度も考えていること

今は、記事も画像も広告も、声でさえも、数秒で作れる時代になりつつあります。私自身もAIツールを毎日使っていて、そのことにわくわくしています。ただ同時に、何もかもが簡単になったとき、何が貴重になるのかをよく考えます。

私の答えは「信頼」です。コンテンツがいくらでも作れるようになるほど、人はその向こうに本物の人がいるかどうか、自分の目で見て、声を聞いて、確かめられる人がいるかどうかを探すようになると思います。

だからこそ、実在する人が誠実に、丁寧に自分の考えを伝えることの価値は、これからの10年で下がるどころか高まると考えています。ツアーガイドで気づいたことと同じです。人は情報ではなく、人とつながります。

この考えは、私の働き方にも影響しています。すぐに忘れられるものを速く作るより、本当に信頼されるものを時間をかけて築きたい。それは他の人の仕事にも、自分自身の仕事にも言えることです。

WHY I STARTED

Yurenji Digitalを始めた理由

きれいに整えた理由ではなく、本当の理由

始める前に、10以上の事業案を真剣に検討し、そのうち二つは細部まで書き上げました。それでも、どちらもやめました。紙の上では筋が通っていても、初日からきちんと提供できるからではなく、分析だけで選んだものだったからです。それは、お客様に対して誠実ではないと感じました。

コンテンツは違いました。子どもの頃からずっと作り、失敗し、学んできたものです。内側から理解している仕事です。

もっと根本的な理由は、とてもシンプルです。事業や作品がようやく届くべき人に届いたとき、その人の人生がどれほど変わるかを見てきました。そして、良いものが誰にも見られずに終わるときの悔しさも知っています。

私は、人の成長を本気で手伝いたいと思っています。スローガンとしてではなく、一緒に仕事をした人から「前より良くなった」と言ってもらえる日が、想像できる一番良い日だという意味で。そこを目指して、この事業を作っています。

WHO I BUILD WITH

共同創業者のYujiと

Yuji Kozawa

私はこの事業を一人で作りたいとは思っていませんでしたし、実際に一人ではありません。共同創業者のYuji Kozawaは営業と事業開発を担当していて、お客様が最初に話す相手の多くは彼です。

Yujiの一番尊敬しているところは、正直さです。彼は、どんな手を使っても契約を取ることが自分の仕事だとは考えていません。本当に相性が良いかどうかを見極め、合わないときははっきりそう伝える。それが彼の考える仕事です。
私たちはお互いをうまく補い合っています。私は調査や細部に深く入り込みがちで、彼は私たちを実際の人や会話とつなげてくれます。Yurenji Digitalの方針の多くは、二人の長い話し合いから生まれました。



HOW I TRY TO WORK

自分に課している基準

壁に貼るルールではなく、毎日守ろうとしている習慣

都合が悪いときこそ、本当のことを言う。うまくいっていないことがあれば、取り繕うより早めに伝えたいと思っています。良い知らせにも悪い知らせにも、同じ誠実さで向き合います。

動く前に、理解する。意見を言う前に、相手の状況をきちんと理解するようにしています。早すぎる助言は、たいていただの推測です。

成果を偽らない。数字を実際より良く見せる近道は使いません。本物でなければ、意味がありません。

自分が適任でなければ、断る。うまくできない仕事を引き受けて失望させるより、正直に断るほうが誰にとっても良いと考えています。

間違いは自分のものとして受け止める。私も間違えます。そのときは、最初に認め、最初に直す人間でいたいと思っています。

学び続ける。プラットフォームも道具も人も、常に変わり続けます。学ぶのをやめた日が、役に立てなくなる日だと思っています。

STILL GROWING

まだ学んでいること、これから目指すこと

すべてがわかっているわけではありません。そう言えることを大切にしています。

私はまだこの道の始まりにいます。本で読んだだけで、実際にやりながら身につけなければならないこともあります。もっと上手になりたい会話もあります。一つひとつの仕事、一人ひとりとの出会いを成長の機会と考え、率直なフィードバックを自分から求めるようにしています。

今は関西を拠点に、事業づくり、京都でのガイド、そしてたくさんの読書や観察、試行錯誤に時間を使っています。

長い目で見て目指しているのは、長く続く事業を作ることです。声が大きいからではなく、本当に役に立ったからこそ、人が友人に紹介したくなる。そんな事業にしたいと思っています。

そしていつか、日本と世界をつなぐ存在になりたいと思っています。日本の企業やクリエイターが海外の人に届くよう手伝い、海外の人には、私が二つの国のあいだで育ちながら幸運にも知ることができた日本を伝えたいのです。

yurenji digital

最後まで読んでいただき、
ありがとうございました。

一般的な自己紹介より長くなってしまいました。実在しない完璧な人物像をお見せするより、本当の私を知っていただきたいと思い、このように書きました。

何か心に残ることがあれば、あるいは少し話してみたいと思っていただけたなら、ぜひご連絡ください。心からうれしく思います。

hello@yurenjidigital.com

REN TAKEMOTO — FOUNDER, YURENJI DIGITAL